

市民活動団体アンケート 調査結果

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的 主に亀岡市がこれまで実施してきたまちづくり協働推進事業について、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を含めた今後の支援の在り方の参考にするために、活動団体の状況や考えを調査する。

(2) 調査方法

電子メール・郵送による依頼・回答

(3) 調査対象

①かめおか市民活動推進センター登録団体

②亀岡市内の NPO 法人

③その他団体※亀岡市が実施する事業の活用実績がある団体等

合計 181 団体

(4) 実施時期

令和2年12月10日～令和3年1月15日

(5) 調査項目

団体についての情報（活動歴・活動分野）

活動資金について

亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の利用状況等について

団体の抱える課題について

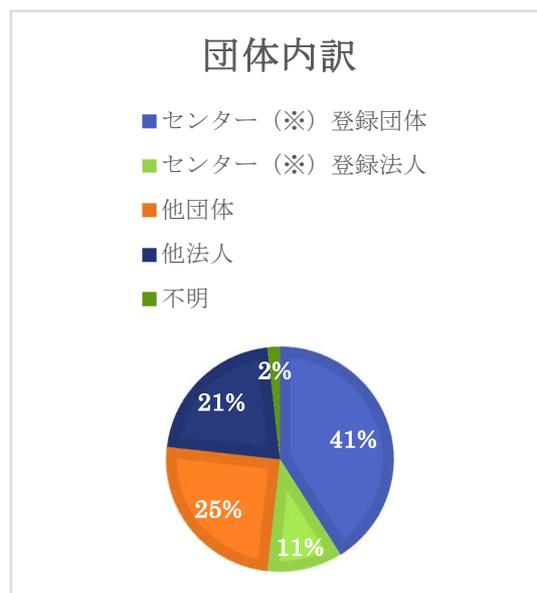
その他

(6) 回収結果

依頼団体数	回答数	回答率
181 団体	56 団体	30.9%

団体内訳	団体数
センター（※）登録団体	23
センター（※）登録法人	6
その他団体	14
その他法人	12
不明	1

※かめおか市民活動推進センター

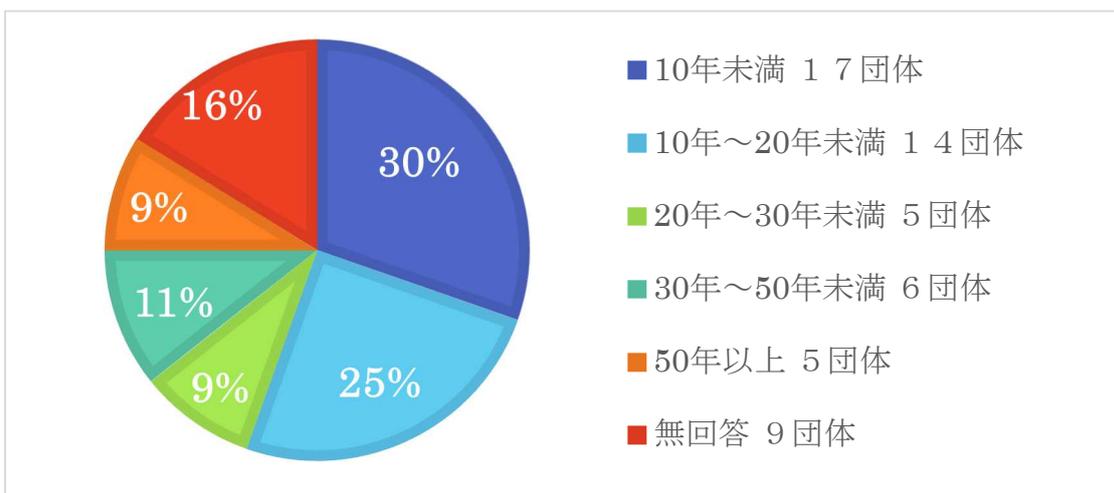


〔かめおか市民活動推進センターの登録団体・登録法人が過半数を占める結果となった。〕

2 調査結果

(1) 活動歴についてお答えください。(設立後経過年数)

10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年～ 50年未満	50年以上	無回答
17団体	14団体	5団体	6団体	5団体	9団体

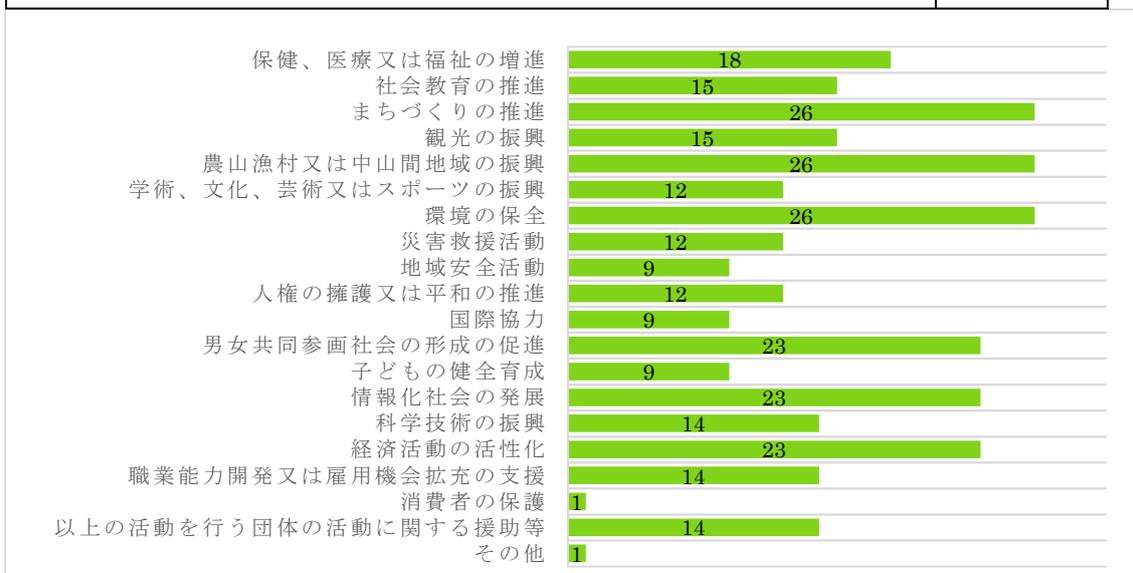


〔活動歴10年未満が最も多く、2番目に多かった20年未満と合わせると半数を超えた。
一方で20年を超え長期に渡り活動を続ける団体からも一定数の回答を得た。〕

(2) 活動分野について当てはまるものすべてについて「○」を選択してください。

(団体数・複数回答可)

保健、医療又は福祉の増進	18
社会教育の推進	15
まちづくりの推進	26
観光の振興	15
農山漁村又は中山間地域の振興	26
学術、文化、芸術又はスポーツの振興	12
環境の保全	26
災害救援活動	12
地域安全活動	9
人権の擁護又は平和の推進	12
国際協力	9
男女共同参画社会の形成の促進	23
子どもの健全育成	9
情報化社会の発展	23
科学技術の振興	14
経済活動の活性化	23
職業能力開発又は雇用機会拡充の支援	14
消費者の保護	1
以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助	14
その他	1

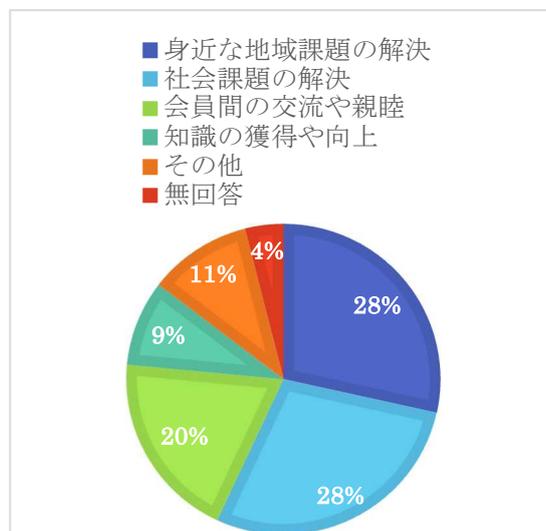


「まちづくりの推進」「農山漁村又は中山間地域の振興」「環境の保全」が同数で最も多く、次いで「男女共同参画社会の形成の促進」「情報化社会の発展」「経済活動の活性化」が多かった。

(3) 活動の性格 (主なもの1つのみ選択)

(団体数)

身近な地域課題の解決	16
社会課題の解決	16
会員間の交流や親睦	11
知識の獲得や向上	5
その他	6
無回答	2
合計	56



「身近な地域課題の解決」と「社会問題の解決」が同数で最も多く、課題解決を目指して活動している団体が多かった。

(4) 団体の主な収入源について当てはまるもの。(金額の大きい順に3つまで選択)

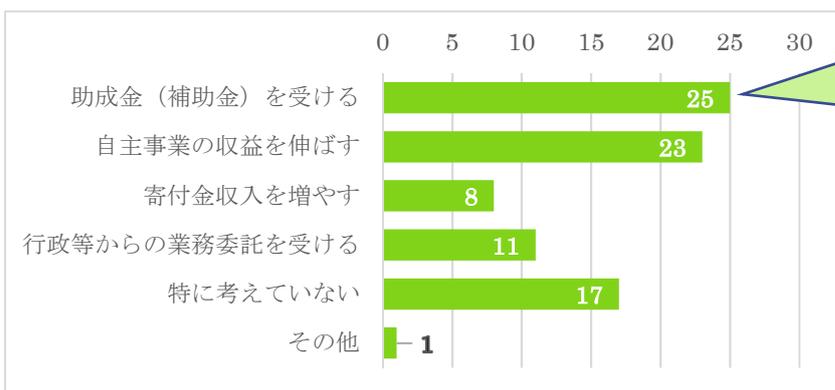
	1 番目	2 番目	3 番目	合計
会費収入	25	11	3	39
会費以外の個人負担	1	3	6	10
事業収入	7	14	2	23
行政からの補助金	12	7	1	20
事業団・社会福祉協議会からの助成金	2	1	2	5
上記以外の民間助成金	0	2	3	5
寄附金	4	2	4	10
行政などからの業務委託	2	3	3	8
その他	3	2	0	5



収入源として最も多いものが「会費収入」次いで「補助金」であった。
 団体の2番目以降の収入として大きなものは「事業収入」「会費収入」であり、
 「会費」「事業収入」「補助金」が多くの団体の主な財源になっている。

(5) 今後の資金獲得方法 (複数回答)

助成金(補助金)を受ける	25
自主事業の収益を伸ばす	23
寄付金収入を増やす	8
行政等からの業務委託を受ける	11
特に考えていない	17
その他	1



想定金額内訳(団体数)	
10万円以内	6
10~30万円	7
30万円以上	12

「助成金を受ける」が最も多く、「自主事業の収益を伸ばす」が続いた。
 自身で資金を獲得する「自主事業収入」と「寄付金収入」を増やすとの回答は合計で30%を超えた。
 助成金を受けると回答した団体の想定している金額については「30万円以上」との回答が最も多く、次いで「10万円以上」となった。

(6) 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の活用実績の有無

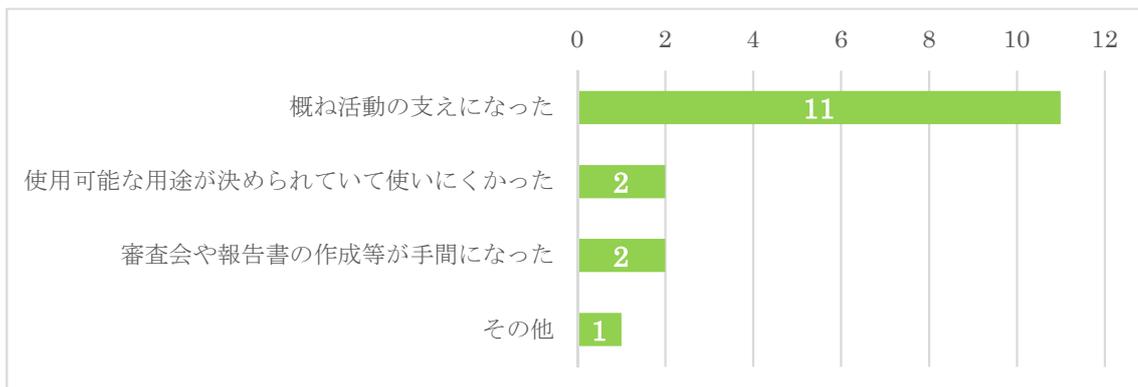
	団体数
はい	12
いいえ	43
無回答	1
合計	56



〔 活用実績なしが77%と多かった。 〕

(7) 設問6で「はい」の場合、支えあいまちづくり協働支援金を活用された感想について。(2つまで)

概ね活動の支えになった	11
使用可能な用途が決められていて使いにくかった	2
審査会や報告書の作成等が手間になった	2
その他	1



(8) 設問7の回答の詳細(自由記述)

- ・参加費だけでは、活動が限られるが、助成金の支援により、幅広い活動が可能となり、支えになった。
- ・ボランティアで活動しています。
- ・協働支援金の申請段階で用途が決まっているのを了知して申請するのだが飲食関係は対象外でお茶代は対象となればよかった。
- ・会場費(ガレリア)や講師謝礼など、主要費用を助けていただき立派に開催できた。参加された市民に好評であった。
- ・事業の場所代、有料講師料の助けに成り有難かったです。
- ・報告書作成や市民ホールでの発表等忙しかった。
- ・京都府、亀岡市、両方の支援をいただき大変助かった。
- ・申請時から支援金の趣旨に添うように経費の組み立てをした
- ・審査基準が厳しい上に、申請準備から報告会まで長期に亘りましたので諸事難しい場面がありました。
- ・支援を頂き、概ね(事業に対する)ニーズを把握できた。(H29年度)
- ・活動の大きな支えになっているが、間接費への充当が年々難しくなるなど、使い勝手が悪くなっているように感じます。

(7)(8)を通して概ね満足との結果だが、一方で資金使途や申請・報告手続きに不便を感じている声もあった。

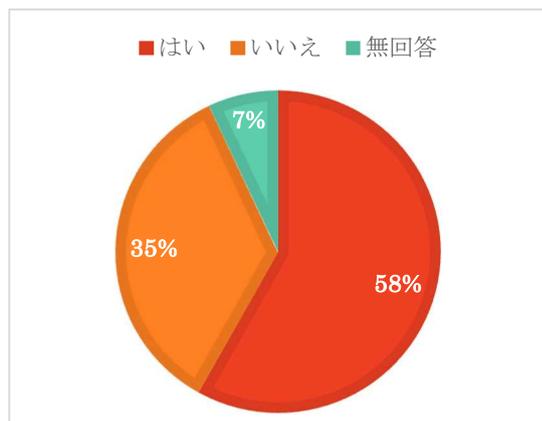
(9) 支援金活用終了後の資金調達状況（方法）や活動内容の変化、縮小や拡大といった変化について（自由記述）

- ・限られた金額ですので、範囲内でしか活動していません。
- ・会の人数も増え、活動する場も地域の行事参加だけでなく、施設慰問や他のサークルといっしょに活動するようになりました。
- ・最初は30人の聴講者からスタートし、ギャラリー大広間を活用するに至っている。資金は京都府地域力交響プロジェクト・寄付・会費で運営。
- ・参加者の会費の徴収や、ボランティアによる地元夏祭りにて物品販売したり、地区社協の補助をいただき現状維持を保っている。
- ・活動が京都府全域なので、京都府の助成金申請に切り替えた。
- ・会員（寄附者）が減少傾向にある。
- ・事業がしっかりと定着して、寄付金の獲得源になっている。

引き続き、補助金を活用して規模を拡大・維持して活動している団体や、寄附金で活動をしているとの回答があった。

(10) 設問6で「いいえ」の場合、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金がどのような制度か知っていますか。

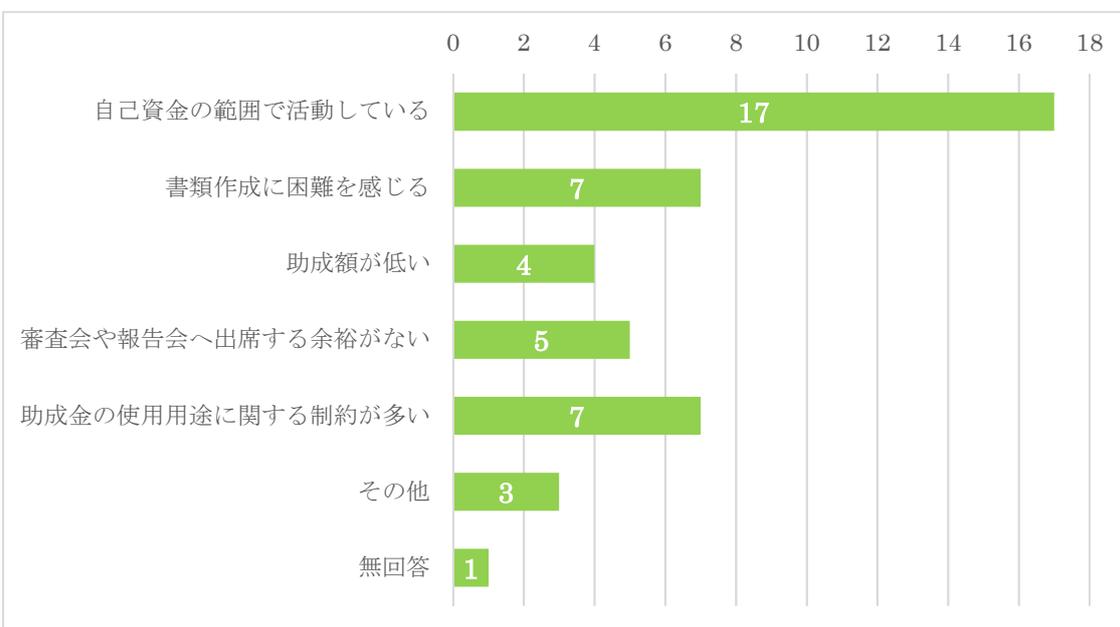
	団体数
はい	25
いいえ	15
無回答	3



支援金を活用はしていないが制度自体の認知度は約6割にのぼる。

(11) 設問10で「はい」の場合、支援金の活用に至らなかった理由をすべて選択してください。

自己資金の範囲で活動している	17
書類作成に困難を感じる	7
助成額が低い	4
審査会や報告会へ出席する余裕がない	5
助成金の使用用途に関する制約が多い	7
その他	3
無回答	1



その他詳細

- ・単年度の助成は馴染まない（継続性のあるものにしてほしい）。
- ・事業の必要性や役目は終り、今後は行政主体で行うべきものと考え
る。
- ・会員数が少ないので条件にあてはまらない。
- ・毎年役員が交代する中で、事業計画が立てにくい。
- ・応募資格を満たさない。

最も多かった回答は「自己資金の範囲で活動している」で支援金を必要としていないという回答だったが、一方で「書類作成に困難を感じる」や「資金使途に関する制約が多い」といった支援金に不便さを感じて利用していないという回答も多かった。

(12) 「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」以外に活用実績のある助成金について、名称と回数。

- ・京都府地域交響プロジェクト (旧：京都府地域力再生プロジェクト)
- ・公益財団法人生涯学習かめおか財団生涯学習事業・多面的機能支払交付金・京都生協
- ・社会福祉協議会・地区社協・日本財団・亀岡市文化交流協会補助金・長谷福社会
- ・三井物産環境基金・京都オムロン地域協力基金・南丹市市民提案型まちづくり活動支援金・京都地域包括ケア推進団体等交付金・京都新聞社会福祉事業団
- ・環境保全型農業直接支払交付金・TaKaRa ハーモニストファンド・TOTO 水環境基金
- ・ライフ&ネピア助成金・平和堂財団夏原グラント・トヨタ財団地域助成プログラム
- ・WAM ((独法) 福祉医療機構の社会福祉振興助成事業)・アウトドア環境保護基金

	回答数
1回	12
2回	8
3回	6
4回	4
5回以上	9

(13) 設問12の助成金を選んだ理由。

- ・当時は他に選択肢がなかった。
- ・助成額(上限)が大きいこと。概ね3年継続して申請可能なこと
- ・団体に資金がなかったこと。
- ・NPO 設立目的を達成するうえで府・市・市民との協働を重視して助成を受けている。
- ・事業(活動)範囲が京都府全域だから。
- ・スポットのイベント助成であるため。
- ・事業の目的に合致する、助成額。
- ・助成目的との一致、助成額の多さ、充当可能な用途の多さ(柔軟さ)、申請書および報告書の簡便さ。
- ・手続きが簡単なため。
- ・補助事業実施団体と共同研究を行っていたため

(12)(13)では亀岡市の支援金以外にも行政や民間団体の実施する補助金を活動の目的や規模に合わせて幅広く活用しているという結果になった。

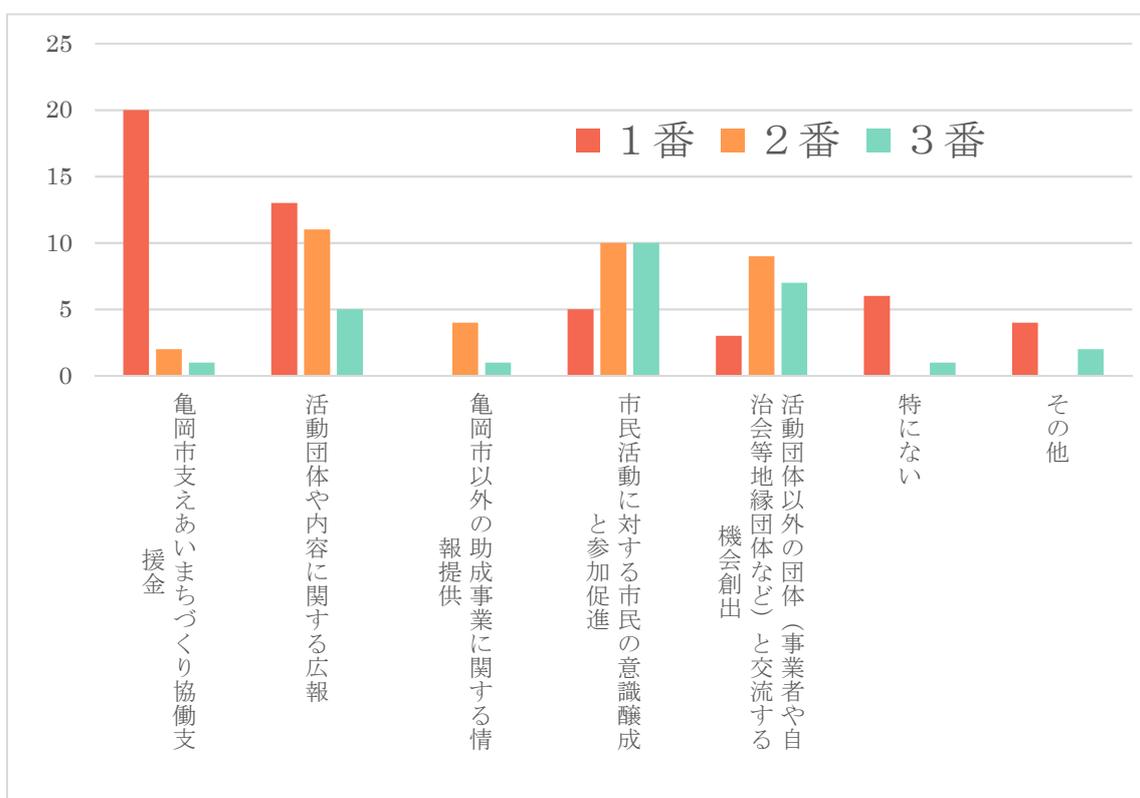
(14)「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」について改善すべきと考える点。

- ・団体構成員の居住地が広域なため、亀岡で支援金が受けられるのかわかりにくくて申込できていません。
- ・協働型の見直し、周知の方法、報告会のあり方
- ・規模が大きくあてはまらないように思われた
- ・活動の内容等を考えて単発事業でいいもの、活動安定性を考え継続性のあるものを多角的に考慮してほしい。
- ・生涯学習部市民力推進課がかかげる年度目標値を支え、達成と連動性があるような組立がよいのではと思う。総合的效果を求めて重点投資が必要。
- ・少人数のグループのコンサート活動にも支援していただけると有難いです。
- ・1つの団体が事業を変えながら申請している場合には何らかのハードルを設けるべきだと思う。
- ・応募資格など。
- ・間接経費（特に人件費）へ充当できるように戻してほしい
- ・手続きを簡単にしてもらいたい。

〔 事務手続きや要件等について使いやすさを求める声があった。 〕

(15) 亀岡市は、NPOや市民活動団体に対して、具体的にどのような支援をすることが必要か。(重要だと思う順に3つまで)

	1番	2番	3番	合計
亀岡市支えあいまちづくり協働支援金	20	2	1	23
活動団体や内容に関する広報	13	11	5	29
亀岡市以外の助成事業に関する情報提供	0	4	1	5
市民活動に対する市民の意識醸成と参加促進	5	10	10	25
活動団体以外の団体(事業者や自治会等地縁団体など)と交流する機会創出	3	9	7	19
特にない	6	0	1	7
その他	4	0	2	6



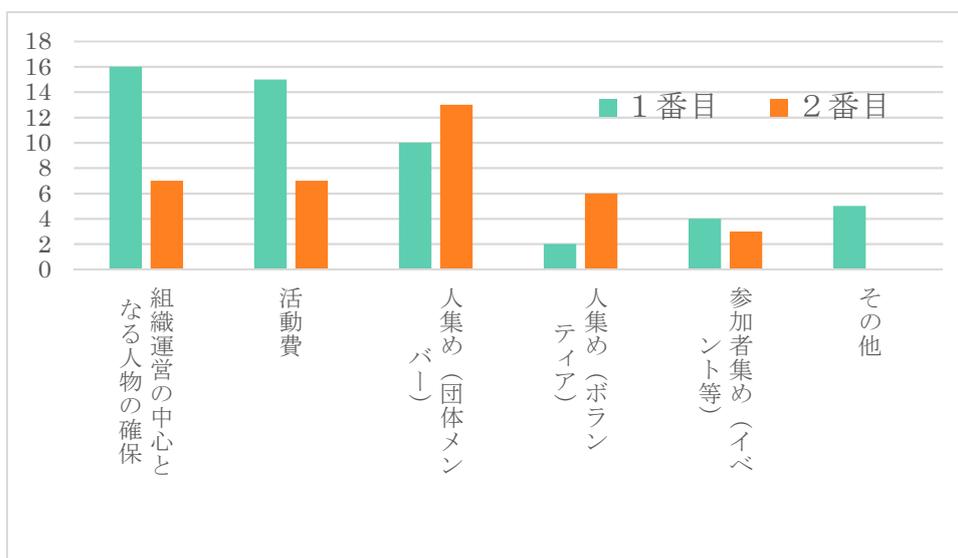
その他詳細

- ・活動場所の無料提供、講座の企画運営などの業務委託
- ・団体が後々に自立できるための支援
- ・会場費の助成・減免措置の適用

「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」を1番目に挙げた団体が最も多かったが、3番目までの総数で見ると「広報」や「参加の促進」や「他団体との交流の機会創出」を挙げた団体も多く、資金面以外の支援も必要性が高いことがうかがえる。

(16) 現在団体としての大きな課題を教えてください。(重要な順に2つまで)

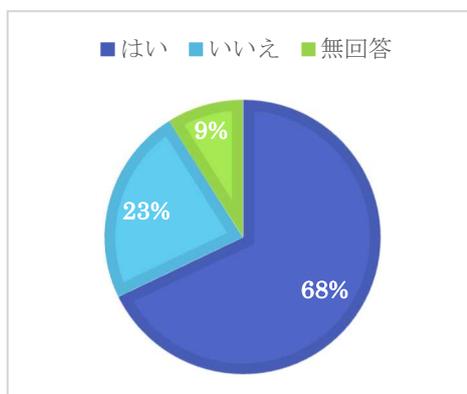
	1番	2番	合計
組織運営の中心となる人物の確保	16	7	23
活動費	15	7	22
人集め(団体メンバー)	10	13	23
人集め(ボランティア)	2	6	8
参加者集め(イベント等)	4	3	7
その他	5	0	5



参加者やボランティアといった外部の人を集めるより団体に直接関わる人材集めを課題だと考える団体が多い。また資金面について課題と感じる団体も多かった。

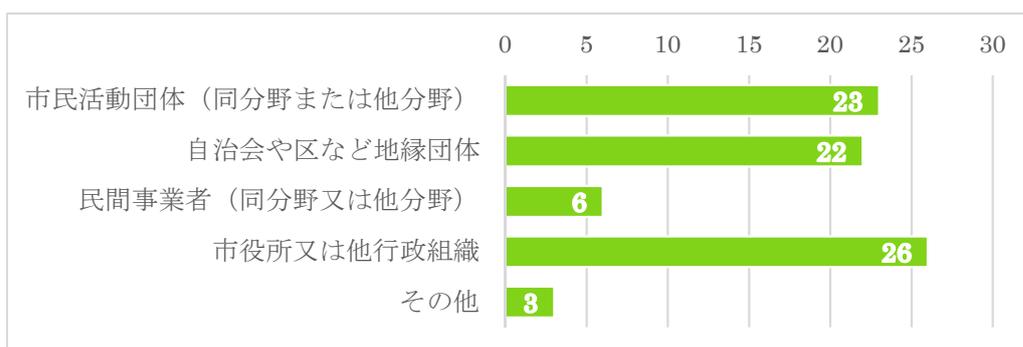
(17) 他の市民活動団体や自治会等地縁団体、事業者と協働（協力）して活動したことがありますか。

	団体数
はい	38
いいえ	13
無回答	5
合計	56



(18) 設問17で「はい」の場合、どんな団体と協働（協力）して活動したかあてはまるものすべて。

	団体数
市民活動団体（同分野または他分野）	23
自治会や区など地縁団体	22
民間事業者（同分野又は他分野）	6
市役所又は他行政組織	26
その他	3

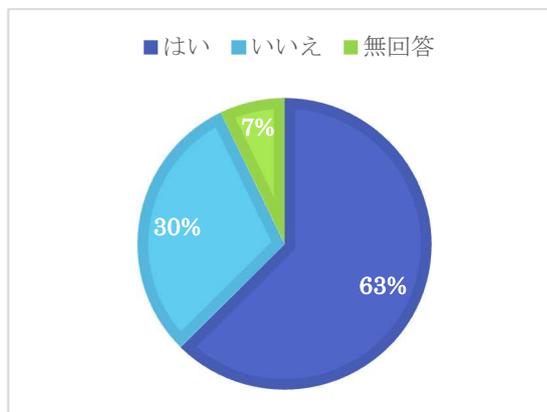


その他詳細
・学校

(17)(18)で約7割の団体が他団体との協働実績があると回答し、その連携先は行政だけではなく他の活動団体や地縁団体も多かった。

(19) 今後、現在貴団体内で運営の中心となっている方々が（健康や年齢、その他諸事情により）運営困難となった場合、次に活動の中心に立つことができる人は団体内にいますか。

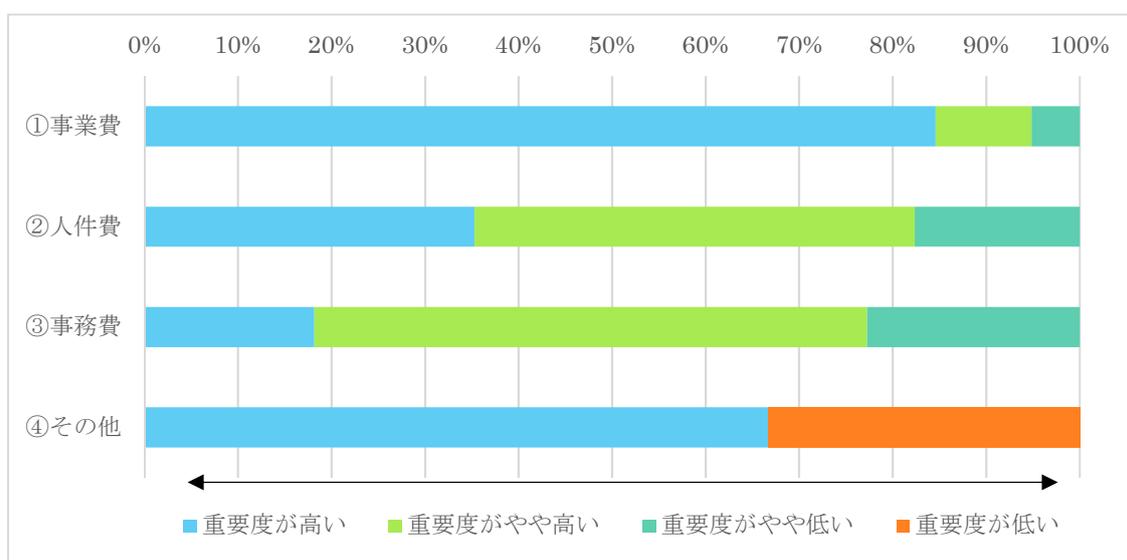
	団体数
はい	35
いいえ	17
無回答	4
合計	56



〔 現在の中心的メンバーが運営困難となった場合でも、後継者となるメンバーがいる
団体が 6 割で、いない団体の倍以上となった。 〕

(20) 現在貴団体において、財政面で課題となっている内容について重要度順に①～④をつけてください。

	合計	重要度	高	←	→	低
①事業費	39	33	4	2	0	
②人件費	17	6	8	3	0	
③事務費	22	4	13	5	0	
④その他	9	6	0	0	3	
無回答	7					



その他詳細

- ・ 道具や資材の購入／広告宣伝費／事務所家賃等／会場費負担
- ・ 財政面に課題はない
- ・ 事業の再開予定はありませんが、もし復活の場合は資金手当、確保が必要。

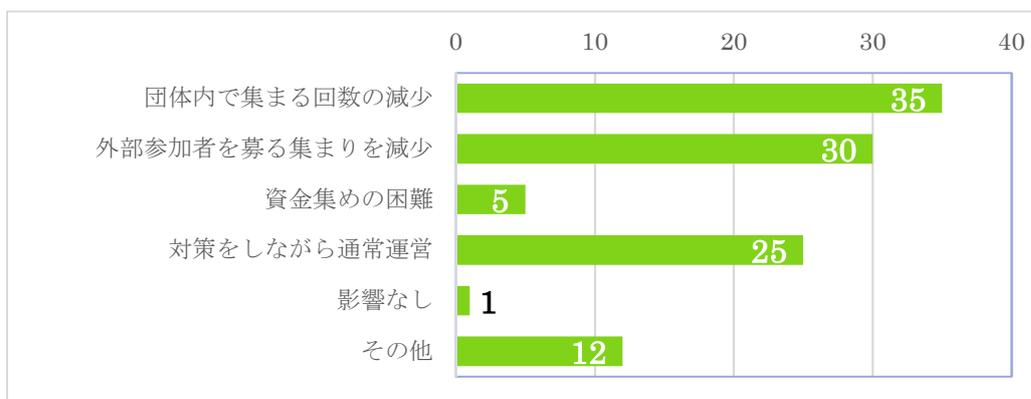
その他の詳細についても、事業費に含まれるような内容を挙げた団体が多いことから、事業費を一番大きな課題に感じている団体が多いことが伺える。

(21) 新型コロナウイルス感染症拡大とその予防のために団体の活動に及ぼしている影響についてすべて選択してください。

	団体数
団体内で集まる回数の減少	35
外部参加者を募る集まりを減少	30
資金集めの困難	5
対策をしながら通常運営	25
影響なし	1
その他	12
無回答	1

その他詳細

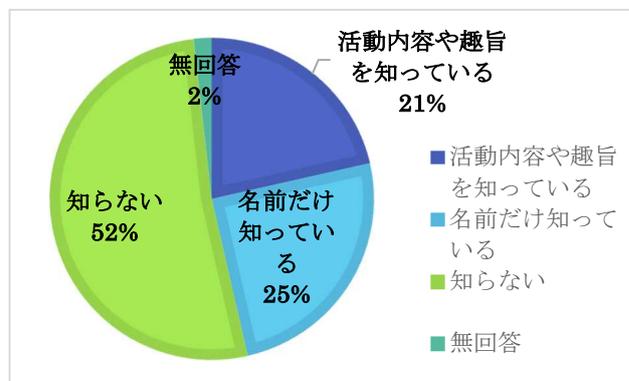
- ・対策費用がかかった
- ・活動の休止



影響なしとの回答は少なく、集まる機会の減少や対策をとる必要が出たなど、影響を受けているとの回答が多かった。

(22) 亀岡NAWASHIRO基金を知っていますか。

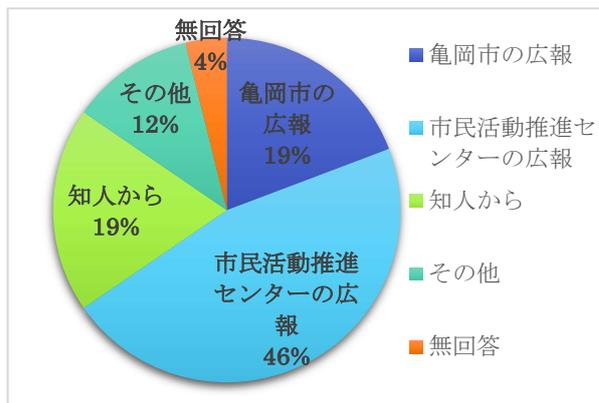
	回答数
活動内容や趣旨を知っている	12
名前だけ知っている	14
知らない	29
無回答	1
合計	56



「活動内容や趣旨を知っている」の21%を除くと、「名前だけ知っている」「知らない」が合わせて約8割に上り、知名度が低いという結果となった。

(23) 設問21で「知っている」の場合、どのように知りましたか。

	団体数
亀岡市の広報	5
市民活動推進センターの広報	12
知人から	5
その他	3
無回答	1



回答団体のうち50%以上がかめおか市民活動推進センターの登録団体ということもあり、センターを通じて知った団体が最も多かった。また市の広報や口コミといった方法での認知も一定割合ある。

(24) 亀岡市やかめおか市民活動推進センターに求める市民活動や協働の促進に寄与する内容について記述。(自由記述)

- ・行政が広報に力を入れて欲しい。
- ・活動の広報をしやすくしてほしい。
- ・活動内容が、亀岡市及び市民にどのくらい貢献できるのか、評価してもらう場や機会があったと思います。
- ・市民活動の成果を全国に広く発信して、市民活動団体が全国に活動を広げる後押しをしていただきたいです。

- ・助成金(公的、私的)の申込書、報告書の書き方アドバイス。
- ・会計予算書、報告書作成時の相談にのってほしい。
- ・相談やノウハウの提供を強化する必要があると常々感じている。もう少し、「現場主義」であるべし！！

・それぞれの分野での活動を知り、コミュニケーションもとっていかれたらと思う。これからコラボ活動を考えている。

・協働の促進とはテーマ名、目的、目標があって始まるものと思う。「協働」というのは手法、手段である。行動を起こす、アクションプランは、まず、目的と目標を示さなければならない。そして4W2Hを協力依頼すべき。

・アユモドキなど希少生物の生育環境を保全していくためには、広く市民の理解と協力が必要であり、そのために当NPOも子どもから成人を対象にした啓発活動に取り組んでいます。より多くの市民に啓発活動の場に参加いただけるよう、亀岡市文化資料館、子ども村、環境政策課等とのコラボイベントを作っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

・協働という概念で事業を進めていくと自治会との協同事業になり、さらに進めていくと行政の事業の一部を自治会に委託することになると考える。そのようになれば、少ない事業予算で事業ができ、事業成果が出てさらに自分たちの住んでいる町の活性化が図れるようになるのではないかと。

・まずは、もっと団体の活動内容や現状を知ることが大事です。

・センターは登録団体の意向をある程度反映した取組が大切であり、行政側の方針と必ずしも合致しない場合がありうるので、両者の緊密な情報交換が大切である(もし行政側の方針をあくまで貫くのであればセンター運営を直轄すべきである。但し、市民団体の活動は自発性、自主性に基づいているので、市民団体の育成・奨励の観点から行政側の対応が求められる)。

・会場の継続的確保と会場費の費用補助や減免措置の適用

〔大きく分けると、「広報」「相談機能」「協力・協働」「情報共有」「資金援助」に対する要望が挙げられた。〕

(25) 貴団体が将来どのような団体になりたいか、現在考えている内容を記述。

- ・ 少子高齢過疎化する地域を活性化（①地域に住む人が毎日の生活に張りあいを持って楽しく暮らせる②若い子育て世代が移住してくる）できる団体になりたい。
- ・ 事業実施初年度から2年目、3年目への工夫のアドバイスをいただきながら、出来れば補助金に頼ることなく、自立できるだけの基盤を作りたい。
- ・ 現状に満足している
- ・ 現在の活動をさらに広げていきたい。
- ・ 出来る範囲で活動を続ける
- ・ 会員を増やしたい。写真の同好会として、ゆるぎない地位を確保したい
- ・ 高齢化が進んでも農業（農地）を守っていける様にしたい。インフラの整備、後継者の養成、住民の交流等を行っている。
- ・ 社会教育活動への貢献
- ・ 現在の活動を定着させ、地域活性化にも貢献していきたい。特に文化、芸術面。
- ・ スタッフが高齢化して来ているので後継者を育て今後益々高齢人々が増え、介護施設が不足になる中、地域で地元の高齢者は地元で見守りたい（立ち上げ当時の考えは変わっていない）
- ・ 障害児者が地域の中で（市民として）安心して暮らしていける様に何が出来るのかを考えながら活動していく（障害への理解）
- ・ もう少し利用者の希望が聞ける体制づくり（日・祝日の利用や活動時間の拡大）
- ・ 亀岡市および関係団体との連携を維持しつつ、今後も身体・知的・精神に障がいをもつ市民の方々の就労支援・生活支援を継続していきたい。
- ・ 現在の活動をさらに広げて加入団体を増やす。今よりも規模の大きな文化イベントをやる。資金（補助金等）の確保。
- ・ 今後も市民対象の講演会等も継続して実施していきたい。
- ・ 我々が学んだことをまとめて、他団体の活動の継続に寄与できれば、最高です！
- ・ 現在の活動が地域に広がり、地域課題（人材不足、行事への参加減少、耕作放棄地の増加、高齢者の増加など）の解決と活性化に繋がればと思います。また、介護費や医療費の削減が実現できればと考えます。
- ・ 国内外の河川環境保護、廃棄物問題に取り組む団体と連携し、亀岡市や保津川の環境保全の取り組みを広く発信し、亀岡の地域の価値を高めたい。
- ・ 社交ダンスを通して、亀岡市の健康街づくりに寄与したいと考えており、そのためには多くの仲間にダンスの楽しさを伝えるための機会を増やしたいと考えているが、会場の確保と会場費が高いことが活動のネックとなっている。
- ・ 国内外の他団体と協働し世界恒久平和の達成
- ・ 日本と海外各国との文化交流・人的交流、相互理解の促進
- ・ 現状の活動範囲内で満足しています。
- ・ 介護予防という分野で若者が職を得て十分に生活を営むことができる状況を作る。
- ・ 現在、は自治会と一緒に事業を実施して来ているところであるが、今年委はコロ

ナの関係で事業を実施していない。そんな中で各部会は日常的にボランティア活動を行っている。将来もその延長線上の活動になると思う（現状で十分である）。

〔 今後も意欲的に活動を続けていきたいという意見が多くみられた。 〕

（26）市民活動について自由に記述※

- ・活動場所の確保に苦労しています。
- ・行政と連携を取り、地域に根ざした団体にしたい。
- ・市民活動や協働にも参加させていただきたいのですが、あまり情報が手元になく、今後市民活動の補助金等を申請させて頂くことも踏まえ、情報をいただければ助かります。よろしくお願い申し上げます。
- ・やはり、資金面の支えがあると安心であるし、それに基づいた活動を自由な発想で展開していきたい。
- ・高齢福祉課や健康増進課等横のつながりを密にし、活動に力を入れていきたい。
- ・アンケートの中でSDGsにつながっていく必要性をPRし引っ張って行って下さい（今後）
- ・会員の高齢化と新規入会の減少、また役員が毎年交代するしくみから会の事業は実施できているものの、今後の運営体制には不安もある。会員の高齢化や会員数の減少は他の組織でもあることかと思うので、組織の活動
- ・運営を安定的に行う体制づくりなどについて考えたい。
- ・センター事務所と登録団体のオンライン化の促進に際して、行政側の支援が必要だと思う。
- ・思いもかけない他分野との協働が、市民活動のオリジナリティを醸成し活動を広げ、その価値を高めると考えます。そのための交流や、アイデア発想力に関する研修サポートなどがあれば、亀岡発のオンリーワンの活動を創造することができると思います。
- ・市民活動推進センターができたが一般市民には認知されているのかどうか？ 広く広報し、何のためのセンターかなど知ってもらい、活用してもらうことが必要。

〔 様々な形で行政の協力・協働を求める回答が挙がった。 〕